

# びわ湖カーボンクレジット勉強会

J-クレジットの制度やカーボンクレジットを活用した商品開発、びわ湖カーボンクレジットの創出・活用事例などをご紹介します。

開催日

**11月18日(火)** 駐車場あり **有料**  
15:00～16:30

ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター) 204会議室  
大津市におの浜1-1-20

**11月20日(木)** 駐車場あり **無料**  
15:00～16:30

つながルーム(旧近江兄弟社小学校:交流拠点)  
近江八幡市浅小井町699



オンライン  
併用開催



[主な内容]

- J-クレジット・びわ湖カーボンクレジットの概要  
カーボンクレジットの種類やJ-クレジットの制度・びわ湖カーボンクレジットについての説明
- クレジット創出方法・活用方法  
クレジットの創出方法や活用方法についての説明
- 事例紹介  
クレジットの創出や活用に関する事例を紹介



## 参加方法

現地での参加・オンライン参加ともに右記二次元コードからお申し込みください。  
お申し込み後、オンライン参加用URL等をご連絡いたします。

**申込締切/各日開催前日12:00まで**

主催: 滋賀県 運営: 有限会社ウエスト

勉強会に関するお問い合わせ(有) ウエスト TEL: 0748-43-0155 (平日9:00～16:00) Mail: zeronavi@we-step.com

お申し込みはこちらから



## びわ湖カーボンクレジット相談窓口

カーボンクレジットの創出や活用に関する質問やご相談を随時受け付けています。  
J-クレジットの専門家をご相談に応じます。  
ぜひお気軽にお問い合わせください。

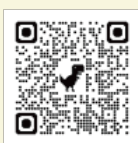
ご相談はこちらから



発行 滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ推進課  
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

※クレジットに関するお問い合わせは、  
上記「びわ湖カーボンクレジット相談窓口」へご連絡ください。

しがCO<sub>2</sub>  
ネットゼロ  
ムーブメント  
賛同者募集中!



2025年度版



滋賀県内の企業のみなさまへ

# 滋賀県版J-クレジット びわ湖カーボンクレジットのご紹介

滋賀県では、事業者等に対してJ-クレジットの理解促進を図るとともに、  
J-クレジットに認証されたものの中で、県内で創出されたJ-クレジットである  
「びわ湖カーボンクレジット」の創出・活用の取組を推進します。

カーボンクレジットとは?

クレジット化  
CO<sub>2</sub>を「価値化」したもの

温室効果ガス(CO<sub>2</sub>など)の削減量・吸収量を「価値化」し、クレジットとして発行されたもの

J-クレジットとは

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、  
適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>の吸収量などを「クレジット」として国(J-クレジット事務局)が認証する制度です。

## 滋賀県産のJ-クレジット=びわ湖カーボンクレジット

J-クレジットのうち、滋賀県内で創出されたクレジットを「びわ湖カーボンクレジット」と称し、  
普及促進の取組を進めています。

びわ湖カーボンクレジットとは?



# 滋賀県版J-クレジット びわ湖カーボンのクレジットのしくみ



詳しくはこちらから

## 活用 クレジットをつかう

クレジットを購入することで、自社のCO<sub>2</sub>削減目標達成や環境PR、経済的利益のために活用することができます。

### 活用方法

- カーボンオフセットに使う
- 温対法・省エネ法での活用
- 再エネ調達量の活用
- カーボンニュートラル行動計画の目標達成

### カーボンクレジット活用でできること

#### ①環境貢献企業としてのPR効果

クレジットの購入をとおして、日本各地の森林保全活動や中小企業等の省エネ活動を後押しすることができます。

#### ②企業評価の向上

温対法・省エネ法の報告への活用や、各種企業評価調査等においてクレジット購入をPRすることで企業評価につなげることができます。

#### ③製品・サービスの差別化

製品・サービスに係るCO<sub>2</sub>排出量をオフセットすることで、差別化・ブランディングに利用可能です。

#### ④ビジネス機会獲得・ネットワーク構築

クレジット購入を通して構築された企業や地方公共団体との新たなネットワークを活用し、ビジネス機会の獲得や新たなビジネスモデルの創出につなげることができます。

## 創出 クレジットをつくる

温室効果ガスの排出削減や吸収量の増加につながる事業を活用し、クレジットを創出することで、クレジットの売却益および環境への貢献の両立が見込めます。

### 創出方法

- 省エネ設備の導入
- 再生可能エネルギーの導入
- 農業での取組
- 適切な森林管理成 など

### カーボンクレジット創出でできること

#### ①ランニングコストの低減

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用により、ランニングコストの低減や、クリーンエネルギーの導入を図ることができます。

#### ②クレジット売却益

設備投資の一部をクレジットの売却益によって補い、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用できます。

#### ③新たなネットワークの構築

創出したクレジットが、例えば、地産地消的に地元で縁の深い企業や地方公共団体に利用されるなど、新しいネットワークの構築につながります。

#### ④地球温暖化対策への取り組みに対するPR効果

自主的な排出削減や吸収プロジェクトを行うことで、温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRすることができます。

#### ⑤組織内の意識改革・社内教育

J-クレジット制度に参加することで、省エネの取組みが具体的な数値として見える化でき、メンバーの取組み意欲向上や意識改革にもつながります。

## カーボンオフセットとは

カーボンオフセットは知る（排出量算定）「減らす（削減努力）」「オフセットする（クレジット購入）」の3つのステップで行われます。

### ①知る

- 排出活動の把握  
カーボンオフセットの対象における排出活動を明確にする
- 算定対象範囲の設定  
自らの排出活動を考慮して決定する。
- 算定方法の記録、保守的な算定を実施

### ②減らす

- カーボンオフセットの対象内外に係る削減努力を行う
- 削減努力を促す取組を行う

### ③オフセット

- 算定排出量に合わせてクレジットを無効化する

## 滋賀県がクレジット創出主

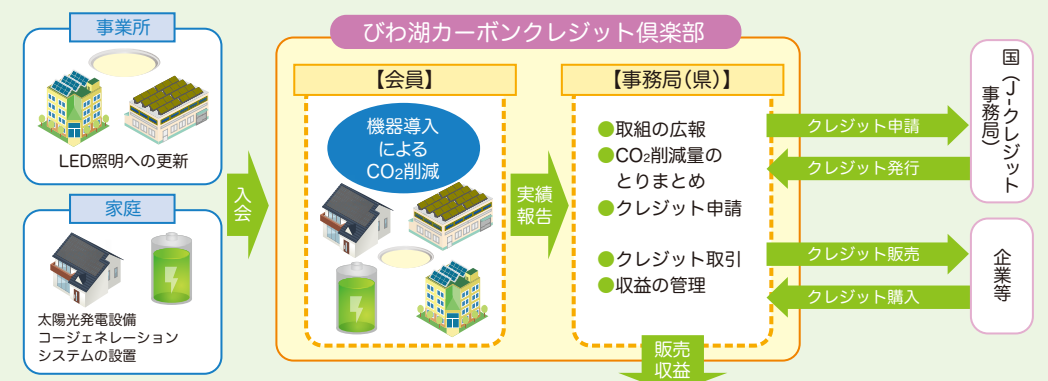
## びわ湖カーボンのクレジット倶楽部

「びわ湖カーボンのクレジット倶楽部」の入会・詳細はこちら



「びわ湖カーボンのクレジット倶楽部」に加入する県民、県内企業が設置した省エネ・再エネ設備で生み出されたCO<sub>2</sub>削減効果を取りまとめ、国のJ-クレジット制度を活用してクレジット化することで、その環境価値を「見える化」するとともに、クレジットの取引により得られる収益を県内のCO<sub>2</sub>ネットゼロにかかる啓発事業に活用するものです。

### びわ湖カーボンのクレジット倶楽部の仕組み



クレジットの販売収益は県内のCO<sub>2</sub>ネットゼロにかかる啓発事業に活用し、県内に広く還元